

第 15 回 ジオパーク下仁田協議会 報告

日時 平成 29 年 11 月 1 日 (水) 午後 1 時 30 分～

場所 下仁田町役場 201 会議室

出席：原 秀男、茂木 学、齊藤 剛、小堀 高広、高橋 幸彦、高桑 裕司、高橋 千秋、

茂木 清、小島 博、森川 恵美子、野村 哲、里見 哲夫

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告事項等

(1) 全国大会（男鹿半島・大潟大会）について

- ・全体を通して、ジオパークがユネスコ化登録されてからユネスコの求めるもの「世界平和、人類みな等しく教育を受ける権利」と各地域の求めるものに差が生じ始めている。これまで以上に地域の中での対話が重要とされている。「持続可能なプログラム」として地域みんながジオパークでどうなりたいかという目標が共有され、地域一丸となって目標に向かっているかどうかが今後の鍵となる。
- ・鳥海山飛島ジオパークのツアーではどこに行っても歓迎を受けたジオパークが地域にとって受け入れられているのをとても感じた。
- ・男鹿半島のツアーではガイドが専門用語を使わず、とても分かりやすく説明していた。

(2) 推進運営委員会報告

(3) 各専門部会の活動報告

4 協議事項

- (1) 11月14日・15日 日本ジオパーク再認定審査の対応について
別紙 再審査スケジュール（案）のとおり承認されました。

(質疑応答・コメント)

- ・再審査までに古いのぼり旗はリニューアルした方がいい。
- ・多くの人が審査に携わるので、審査の際にはそれぞれ名前が分かるように

名札を作成したほうがいい。

- ・前回の再審査で「科学的根拠の不足」が指摘されているが進捗状況は？
→学術部会においてサイト毎の学術到達度のチェック表を作成。
また、不足しているサイトにおいては研究者に調査を依頼。
「じいとばあ」については今年度の自然史館研究報告に報告予定。

(2) 下仁田ジオパークアクションプランの策定について

別紙 アクションプラン（案）のとおり承認されました。

（質疑応答）

- ・保全は天然記念物、文化財にする考えはあるか？
→保全についてはサイト毎のカルテを作成し、オーバーユース、資源枯渇の危険度の高いところから順番に保存管理計画を作っていく。その計画の中に、状況によっては「天然記念物」「文化財」指定も視野に入れている。
- ・アクションプランの進捗度はだれがチェックするのか？
→推進運営委員会や協議会で年度毎に確認する。

(3) 11/14・15 ジオパーク再審査について

別紙 再審査スケジュール（案）のとおり承認されました。

（質疑応答・コメント）

- ・再審査までに古いのぼり旗はリニューアルした方がいい。
- ・多くの人が審査に携わるので、審査の際にはそれぞれ名前が分かるように名札を作成したほうがいい。
- ・前回の再審査で「科学的根拠の不足」が指摘されているが進捗状況は？
→学術部会においてサイト毎の学術到達度のチェック表を作成。
また、不足しているサイトにおいては研究者に調査を依頼。
「じいとばあ」については今年度の自然史館研究報告に報告予定。

5 その他

サンスポーツランド下には本宿陥没時代の火山による岩脈が深い溪谷を作っている。河床には岩脈の露頭がきれいに露出しているが、ここ数年で崖が膨らみ露頭の崩落の恐れがある。今後露頭の保全も検討してほしい。